

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申入書

県内の1日の新規感染者が1000人を超え、病床使用率も過去最大となるなど、想定を超える感染拡大となり、医療機能や命への危険が急速に高まり、このままでは社会・経済活動にも大きな影響を与えかねない状況にあります。

特にお盆・帰省時期を迎え、イベントや集まりなど人と人との交流・接触の機会が増加し、感染の爆発的拡大を引き起こしかねないため、各商工団体においても、特別の感染予防対策を実施いただくよう御協力をお願いします。

記

- 1 エアロゾル感染を防ぐための換気の徹底など、事業所内の感染防止対策の徹底
 - ・空気の流れを意識して、エアコン中も換気を実施（パーテーションの配置が空気の流れを阻害していないか事業所内の再確認、2方向の窓開け換気の実施等）
 - ・正しい不織布マスクの着用、密を避ける、飛沫が付着しやすい電話機などの消毒の徹底などの基本的感染対策を徹底
 - ・宴会・会食時は「大人数を避ける」「乾杯や大皿の取り分けはしない」「黙食・マスク会食を徹底」など感染対策を強化
- 2 事業所内が密にならないよう、勤務場所を分散する・お盆休みや夏季休暇等を活用して交互に休暇を取得するなどの「分散・交代勤務」や非接触による勤務が可能な「テレワーク」の積極的な導入
- 3 従業員本人及びご家族が体調不良時には無理せず休ませるなど休みやすい職場環境づくりの促進をお願いします。
- 4 体調が悪い時は、まずはかかりつけ医に相談するなど通常の診療時間内に受診する、時間内に相談できない場合、新型コロナウイルス感染症に関しては受診相談センターに相談するなど、医療機関の適切な利用について周知をお願いします。
受診相談センター：0120-567-492（毎日9時～17時15分）

令和4年8月10日

鳥取県商工会議所連合会 会長 児嶋 祥悟 様
 鳥取県商工会連合会 会長 土井 一朗 様
 鳥取県中小企業団体中央会 会長 谷口 譲二 様

鳥取県商工労働部長 池田 一彦
 (公印省略)

オミクロン株 B A. 5 系統の感染急拡大を踏まえた分散・交代勤務、テレワークの積極的な活用について

本県の商工労働行政の推進について、日ごろ、格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和 4 年 7 月 27 日付第 202200112439 号本職通知「オミクロン株 B A. 5 系統の事業所での感染事例を踏まえた対策の高度化について」を发出し、オミクロン株 B A. 5 系統に対する感染対策の高度化をお願いさせていただきました。

しかしながら、8 月 4 日には県西部に新型コロナ警報「特別警報」を発令し、県東部、中部でも「警報」レベルにあるなど、県内におけるオミクロン株 B A. 5 系統の感染急拡大に歯止めがかからない状況にあります。

来週からお盆期間を迎えるにあたり、県外往来や人と集う機会などの増加が想定されることから、各事業所における感染拡大防止のため、今一度、十分な換気などエアロゾル感染対策を徹底するとともに、可能な事業所について、勤務場所を分散する、お盆休みや夏季休暇等を活用して交互に休暇を取得するなどの「分散・交代勤務」や非接触による勤務が可能な「テレワーク」について、積極的に活用いただくよう、改めて会員企業・団体等への周知徹底をお願いします。

(担当：商工政策課 谷本 電話：0857-26-7213)

事業所の皆さま お盆期間も感染対策をお願いします！

十分な換気などエアロゾル感染対策を徹底するとともに、可能な事業所については、**お盆期間中の「分散・交代勤務」や「テレワーク」の活用をお願いします**

マスク着用	マスク着用する際は「鼻出しマスク」や「アゴマスク」にならないよう正しい着用を職場内で呼びかけ
換気の徹底	エアコンをつけていても 30分に1回、数分程度の窓開け換気 をお願いします
共用物の消毒	飛沫が付着しやすい 電話機やマイクは使用後に必ず消毒 を行う
体調不良時の出勤	従業員本人及びご家族が 体調不良時に無理せず休めるよう、休みやすい職場環境づくり
検査勧奨	従業員が陽性となった時は、他の従業員や来訪者などに対して 幅広く無料PCR検査の受検勧奨 を

低リスクな勤務形態

- 症状のある従業員の出勤自粛(休みやすい環境づくり)
- お盆期間の出勤者の削減
- 交代勤務や分散勤務

Withコロナの働き方

- テレワークの常態化
- テレビ会議の活用等による柔軟な就業形態の実現

事業継続への備え

- 優先業務の選定と体制確保
※継続すべき業務と縮小可能な業務の選定
- 多数の欠勤者が生じた場合の体制の備え

①エアロゾル感染 + ②飛沫感染 (※) の対策が必要

(※) 飛沫感染: ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着することにより感染すること。

① エアロゾル感染の対策

・エアロゾル粒径と感染の関係が明らかになっていないため、A+Bの対策が望ましい。

A 大きい粒径が到達する風下での感染の対策

人の距離を確保、横方向の一定気流を防止 (扇風機首振り・エアコンスイングなど)

B 小さい粒径が浮遊する空間内での感染の対策

必要な換気量 (1人あたり30m³/h以上、CO₂濃度1000ppm以下) を確保

② 飛沫感染の対策

マスクの装着、飛沫放出が多い場合には直接飛沫防止境界 (パーティションなど) を設置



室内環境中の飛沫の挙動と伝搬の可能性

対策の要点

① 空間のエアロゾル除去 (換気) 性能の確保

- ・換気量 (CO₂濃度) 基準を満たすことは、多くの建物の換気設備で可能。
- ・換気設備の性能が不十分な場合は、窓開け換気を実施。

② エアロゾルの発生が多い行為等への対応

- ・エアロゾル発生が多い行為 (口腔ケア、激しい運動) が想定される場合には、A 風下での感染+B 空間内に拡散することによる感染の双方を十分に配慮。

③ 換気量増加 (窓開け換気) の副作用への配慮

- ・冬期には寒さ (ヒートショック等)、夏期には暑さ (熱中症等) と湿気 (結露による真菌細菌等) に配慮。
- ・夏期には、温度計を設置し室温をモニターしながら冷房と換気を同時に行い、熱中症とならないよう工夫する。
- ・窓開けが難しい場合には、CO₂濃度を確認した上で、必要に応じて人の密度を抑制 (人距離確保と感染者が存在する確率を抑制)、空気清浄機を利用。

エアロゾル感染を防ぐ空気の流れ

窓が2方向にある場合

エアロゾル発生が多いエリアから扇風機、サーキュレータで排気し、反対側から外気を取入れる。



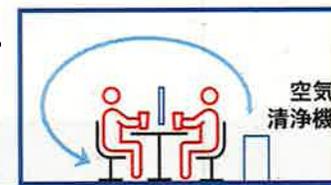
換気扇がある場合

換気扇で排気し、反対側から外気を取入れる。



換気扇・窓がない場合

空気清浄機でエアロゾルを捕集。



新型コロナウイルス感染症対策に関する県商工会議所連合会との協議

➤ 日時：令和4年8月10日（水）午後4時40分から

➤ 場所：ホテルニューオータニ鳥取 3階「鶴の間」

➤ 出席：【県商工会議所連合会】

鳥取商工会議所 会頭、副会頭、専務理事

米子商工会議所 会頭、副会頭、専務理事

倉吉商工会議所 会頭、専務理事、理事

境港商工会議所 副会頭、専務理事、事務局長

【県】

知事

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局長、商工労働部長

➤ 議題：

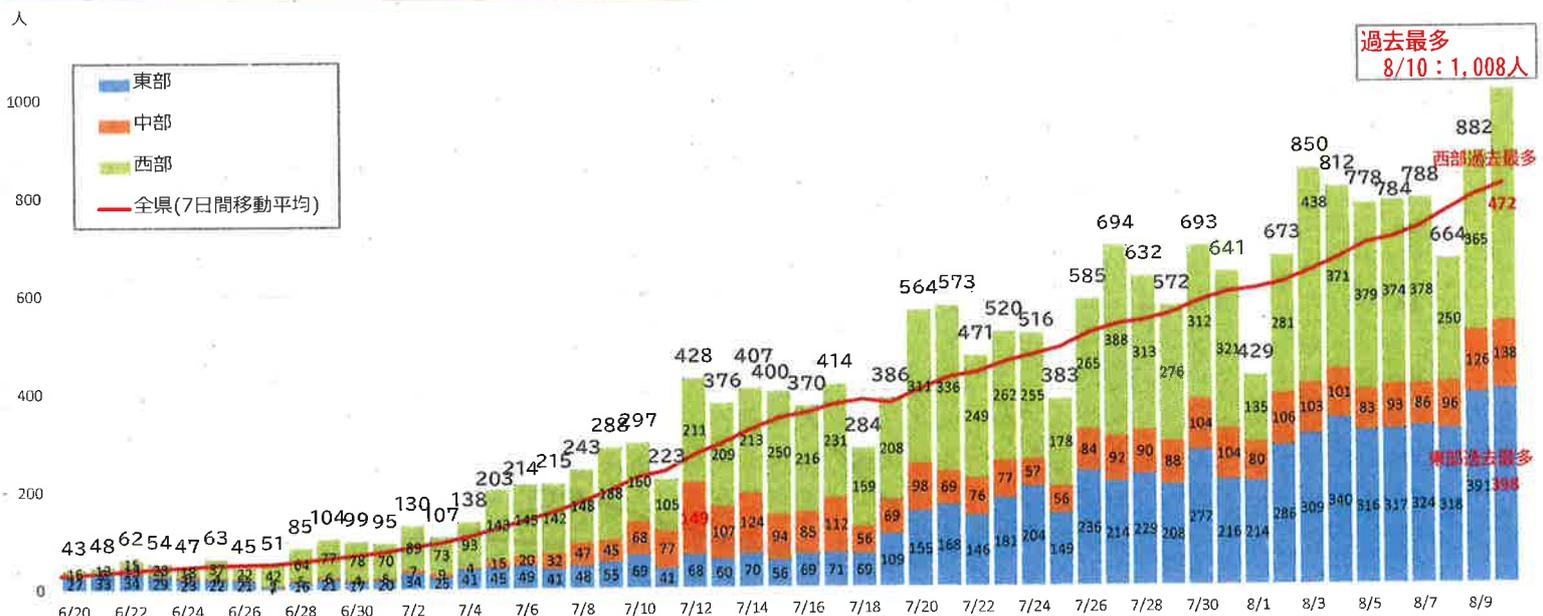
(1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申入について

(2) 県内の感染状況及び分散・交代勤務やテレワークの実施、ワクチン接種の推進について

(3) その他

新規陽性者数の推移

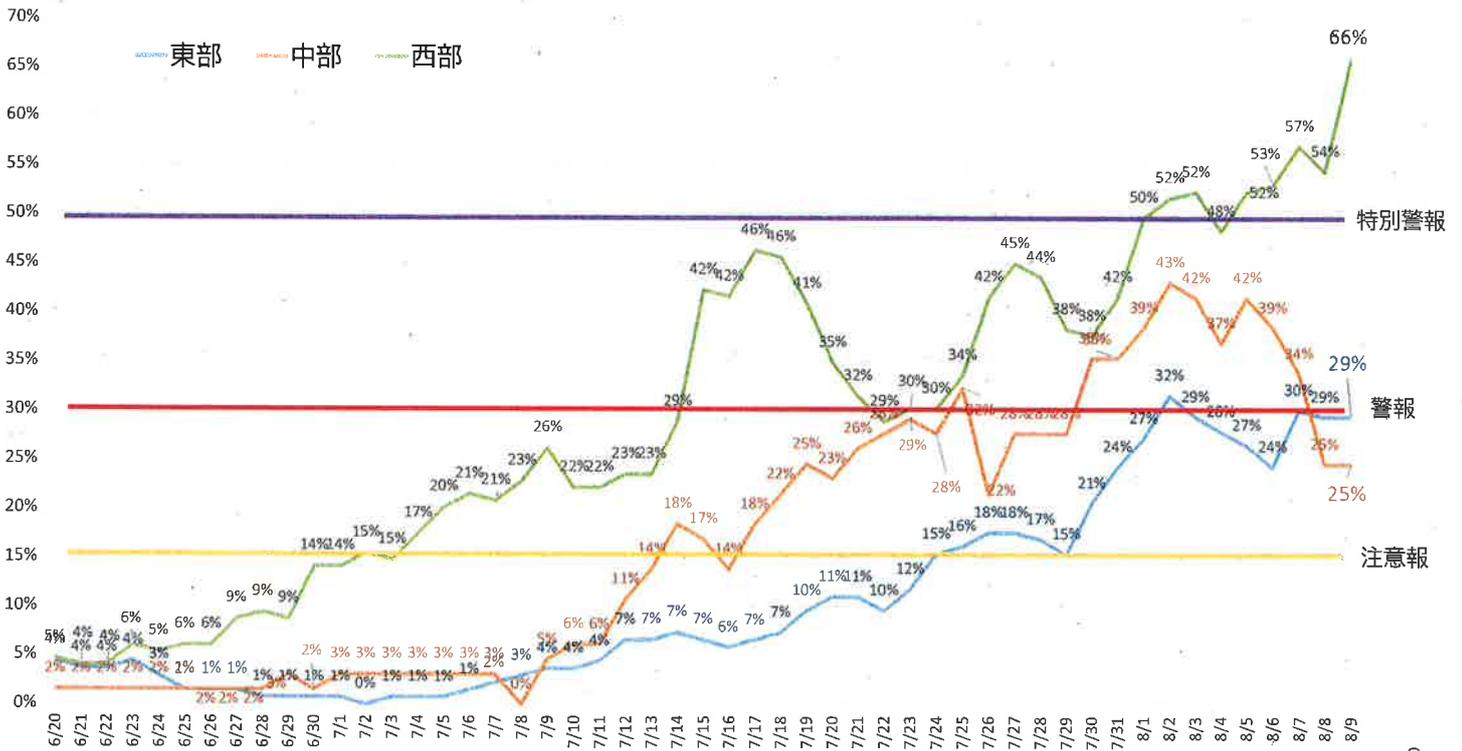
【公表日ベース】



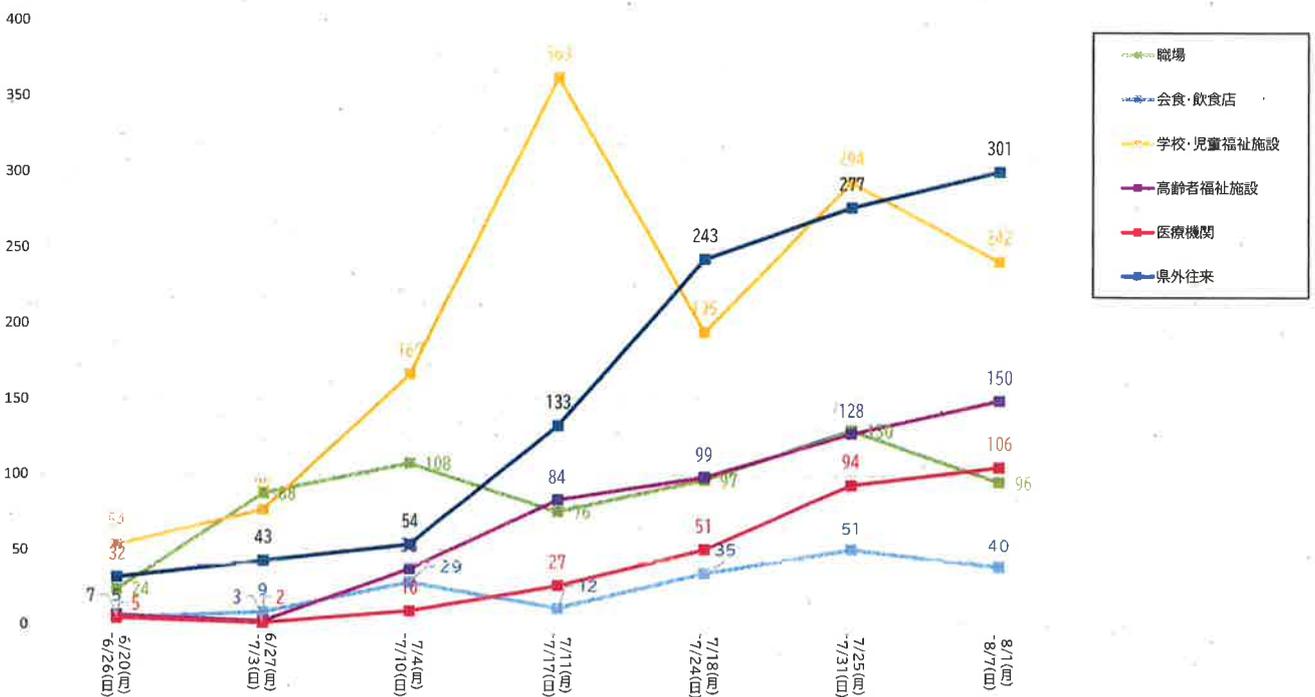
6/20～8/10保健所ごとの累計発表陽性者数

管轄保健所	鳥取	倉吉	米子	全県計
累計陽性者数	6,886	3,178	10,368	20,432

病床使用率の推移



推定感染経路別の推移(7日間計)



県内全域に「感染急拡大嚴重警戒情報」を発出

新規陽性者数が予想を上回る勢いで急拡大していることから、県内全域に「感染急拡大嚴重警戒情報」を発出します。

高齢者施設、医療機関での感染が増加し、医療がひっ迫し始めています。

また、県外往来や放課後児童クラブ、保育施設でも感染が増えています。換気やマスクの着用、密を避けるなど、特別の感染対策をお願いします。

地域	区分	備考
県内全域	感染急拡大嚴重警戒情報	8/10～

5

これ以上の感染拡大を防ぎましょう！

爆発的感染拡大が懸念される状況になりました
県民・市民が心を一つに感染防止対策をお願いします

御自身・御家族の夏休みを大切にするために
みんなで取り組みましょう



6

緊急統一アピール お盆・帰省期間は特別の感染予防を

全国で未曾有の感染拡大が続き、本県も医療不機能や命への危険が急速に高まっています

お盆・帰省時期を迎え、イベントや集まりなどの交流・接触の機会が増加し、感染の爆発的拡大を引き起こしかねず、この時期は「特別の感染予防」を実践していくことが大切です

感染防止対策の徹底やワクチン接種をすることで、みんなで「安心な夏休み」にしましょう！

- お盆でも正しいマスクの着用、密を避けるなど基本的感染防止対策を
- 県外往来の際は、帰省前と帰省後に積極的な無料検査の受検を
- 人が集まる場面では、家庭でもお店でも、エアコン中も換気を
- 宴席・会食時は大人数・大皿の取り分けを避け、黙食・マスク会食の徹底を
- イベント等の前後も含めて大騒ぎをしないなど、感染拡大を起こさない行動を
- 発熱などの症状があれば、電話をした上で、医療機関の受診を

鳥取県

鳥取市 米子市 倉吉市 境港市 岩美町 若桜町 智頭町 八頭町 三朝町 湯梨浜町 琴浦町 北栄町

日吉津村 大山町 南部町 伯耆町 日南町 日野町 江府町

鳥取県医師会 鳥取県東部医師会 鳥取県中部医師会 鳥取県西部医師会

鳥取県看護協会

鳥取県薬剤師会

7

「鳥取県版 新型コロナ警報」(8月10日現在)

西部地区に「特別警報」、東部地区及び中部地区に「警報」を発令しています。

BA.5の極めて感染しやすい特性から、県民の皆様には、高い緊張感をもって感染対策の徹底をお願いします。

地域	発令区分	備考
東部地区	警報	8/4～
中部地区	警報	8/2～
西部地区	特別警報	8/4～

<目安:最大確保病床使用率> 注意報(15%超)、警報(30%超)、特別警報(50%超) (3日連続した日の翌日から)

<最大確保病床使用率(8/8)> 東部(29.4%)、中部(24.6%)、西部(65.8%)

⇒西部地区において、急上昇しており、医療への負荷が増大しています。

8

「レベル分類」の本県独自の判断指標状況

コロナ医療が必要な人へ提供でき、一般医療の制限には至っていない状況であることから、本県の状況は、総合的な判断により「レベルⅡ」

※レベルⅡ：新規陽性者数が増加傾向。一般医療と新型コロナ医療の負荷が生じはじめているが、病床数増加でコロナ医療が必要な人へ適切な医療ができています

Ⅲ：一般医療を相当程度制限しないと、コロナ医療が必要な人への適切な医療ができない

判断指標	数値(8月9日現在)	本県独自目安 (状況を踏まえ総合的に判断)		
		Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
新規陽性者数(対人口10万人/週)	1,032.9人 (5,716人/55.3万人×10万人)	50人/週	150人/週	250人/週
最大確保病床使用率	44.0% (154/350床)	15%	50%	80%
重症病床使用率 (重症者以外が使用している場合も計上)	2.1% (1/47床)	—	50%	

参考指標	数値(8月9日現在)
療養者数(対人口10万人/週)	1,283.7人 (7,104人/55.3万人×10万人)
PCR陽性率(直近1週間)	32.1% (5,716人/17,812件)
感染経路不明割合(直近1週間)	確認中

9

「BA.5対策強化宣言」へ

感染が急拡大している本県の感染状況を踏まえ、「BA.5対策強化宣言」発出を検討。政府・内閣府と協議を進めるとともに、本県独自の対策を順次導入する。

【本県独自の対策例】 ※状況に応じて、対策を順次導入

○社会福祉施設・医療機関 夏休み期間感染予防緊急対策

- ・ 県外からの帰省者等に伴い、社会福祉施設・医療機関職員がホテル等に自主隔離する際の宿泊費用等を助成

※法人等が職員に対して支援する場合にその費用を助成する

期 間：令和4年8月10日～8月31日

助成額：一人あたり一日6,000円以内を全額補助

○院内保育所クラスター防止特別対策

- ・ 職員が休みやすい環境・体制づくり、職員の抗原検査や無料PCR検査の呼びかけ
- ・ お盆期間中における可能な場合の家庭での保育を呼びかけ

○商工団体と連携したテレワーク導入等の推進

- ・ 本日(8月10日)、各商工団体に対して、感染対策に関する緊急申入を実施

10

事業所の皆さま お盆期間も感染対策をお願いします！

十分な換気などエアロゾル感染対策を徹底するとともに、可能な事業所については、**お盆期間中の「分散・交代勤務」や「テレワーク」の実施をお願いします**

マスク着用	マスク着用する際は「鼻出しマスク」や「アゴマスク」にならないよう正しい着用を職場内で呼びかけ
換気の徹底	エアコンをつけていても30分に1回、数分程度の窓開け換気をお願いします
共用物の消毒	飛沫が付着しやすい電話機やマイクは使用後に必ず消毒を行う
体調不良時の出勤	従業員本人及びご家族が体調不良時に無理せず休めるよう、休みやすい職場環境づくり
検査勧奨	従業員が陽性となった時は、他の従業員や来訪者などに対して幅広く無料PCR検査の受検勧奨を

低リスクな勤務形態

- 症状のある従業員の出勤自粛(休みやすい環境づくり)
- お盆期間の出勤者の削減
- 交代勤務や分散勤務

Withコロナの働き方

- テレワークの常態化
- テレビ会議の活用等による柔軟な就業形態の実現

事業継続への備え

- 優先業務の選定と体制確保
※継続すべき業務と縮小可能な業務の選定
- 多数の欠勤者が生じた場合の体制の備え

11

エアロゾル感染が疑われる感染拡大事例

○ 職場においてビニールカーテンが空気の流れを遮断し、換気が不十分になったため感染が拡大

- 飛沫防止対策のために設置した**ビニールカーテンが風の流れを遮断**
- ビニールカーテンが席の対面だけでなく通路部分にも設置され、ビニールカーテンに**囲まれた小さな部屋が複数存在する**ような状態
- エアコンの風がビニールカーテンにあたり、**室内に滞留**



○ 家庭等においても一緒に過ごすリビング等の共有部分での感染拡大が疑われる事例あり

○ 屋内での運動において換気は行っていたが、**一方向の窓(ドア)換気のみで、サーキュレーターの設置等も無く**、換気が不十分であったことで複数の者が同時期に感染

○ 換気設備の無い更衣室において、**空気の滞留が発生し**、複数の者が同時期に感染

12

BA.5は換気がポイント！換気を効果的に行いましょう

県内においても、換気不足や換気阻害による感染拡大事例が報告されています

効果的な
換気
の
考え方

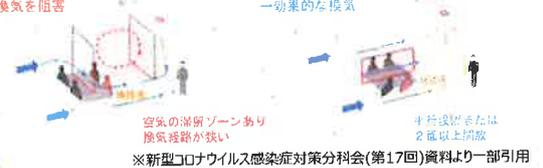
- ✓ **空気の入口(吸気口)と出口(排気口)を意識！** 空気の流れを作ることが重要です。
- ✓ 家庭用エアコンの多くは換気機能はありません。**エアコン使用時も窓開け換気が重要**です。
- ✓ **空気の流れを阻害しないパーテーションの配置が大切**です。(各職場等で再点検を)

換気のポイント

- ① エアロゾル発生が多い人が多くいるエリアから排気、反対側から外気を吸気
- ② 空気の流れを阻害するビニールカーテンなど背の高いパーテーションは、**空気の流れに対して平行に設置**
- ③ **背の低いパーテーションで3方向を塞がない** (横の人との距離を1M以上確保)
- ④ **換気扇(機械換気)による常時換気**
- ⑤ **機械換気が無い場合、30分に1回、数分程度、窓開け換気(窓やドアを全開)**
 - ・2方向を窓開けをすると効果的
 - ・熱中症予防のため、換気の際は、室温や湿度にも配慮
- ⑥ 更衣室など換気ができない場所では、同時に利用する人数の制限
- ⑦ **CO2センサー等を活用し必要な換気ができているか確認(概ね1,000ppm以下を維持)**

換気を阻害しないパーテーションの配置

・パーテーションの配置や形状により、換気が有効に動かない場合があります。
 空気の流れを速る → 換気を阻害
 空気の流れに平行 → 効果的な換気



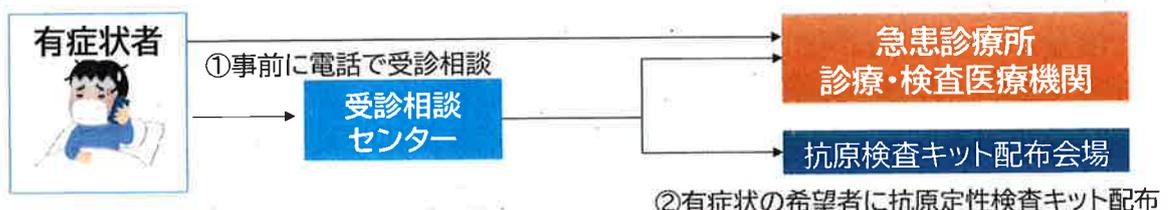
空気の滞留ゾーンあり
換気経路が狭い
平行設置または
2風以上開放
※新型コロナウイルス感染症対策分科会(第17回)資料より一部引用



13

お盆期間中の医療・相談体制

- ① **受診の際は、事前に各医療機関又は受診相談センターへご連絡ください**
 - ・受診相談センターに加え、県庁にも相談窓口を開設(8/11~16特別体制を整備)
 - 新型コロナ対策本部 0857-26-7958(9:00~17:15)
- ② **受診先が見つからない場合、有症状の希望者に抗原定性検査キット配布**
 - ・期間: 8月13日~16日
 - ・場所: 東部、中部及び西部に配布会場を開設
 - ・その他: 予約が必要ですので、県ホームページ掲載の連絡先にご相談ください



②有症状の希望者に抗原定性検査キット配布

14

お盆期間中の医療・相談体制

■ 受診の際は、事前に各医療機関又は以下の受診相談センターにご連絡ください。

受付時間	連絡先		
9:00～17:15	☎ 0120-567-492 FAX 0857-50-1033 上記につながらない場合は、新型コロナ対策本部(0857-26-7958、9:00～17:15)まで。		
上記以外の時間	東部 ☎ 0857-22-8111	中部 ☎ 0858-23-3135	西部 ☎ 0859-31-0029

■ 圏域ごとの急患診療所を中心に外来診療体制を確保します。また、診療・検査医療機関の一部が開院して受診相談センターから紹介された患者の診療に対応します。(東部:60、中部:32、西部:86、県計:178箇所) 15

区分	8/11(木祝)		8/12(金)		8/13(土)		8/14(日)		8/15(月)		8/16(火)		備考
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
東部 東部医師会急患診療所 (☎ 0857-22-2782)	9:00～17:00		19:00～22:00				9:00～17:00				19:00～22:00		内科・小児科
	19:00～22:00						19:00～22:00						
診療・検査医療機関の開 院数	3	1	39	35	12	7	1	1	11	9	41	44	
中部 中部休日急患診療所 (☎ 0858-22-5780)	9:00～21:00						9:00～21:00						内科・小児科。※12:30～ 13:30、17:00～18:00は休憩
診療・検査医療機関の開 院数	6	4	21	21	8	3	4	4	5	5	25	25	
西部 西部医師会急患診療所 (☎ 0859-34-6253)	9:00～22:00		19:00～22:00				9:00～22:00		19:00～22:00				内科・小児科
診療・検査医療機関の開 院数	5	4	57	56	14	5	1		12	12	72	69	
西部 境港日曜休日急患診療所 (☎ 0859-44-4173)	10:00～17:00						10:00～17:00						内科・小児科 ※12:00～13:30は休憩
診療・検査医療機関の開 院数	5	4	57	56	14	5	1		12	12	72	69	

■ 8/13～16の間、有症状で医療機関が見つからない方
東・中・西部に会場を設け、希望者に抗原定性検査キットを配布します。
予約が必要ですので、県ホームページ掲載の連絡先にご相談ください。

15

イベントの開催は慎重に検討してください！

大勢の人が集まる夏祭りやイベントの開催は、あらためて慎重な検討をお願いします。
開催される際には、準備段階から感染防止対策を徹底していただくようお願いします。

県主催イベントの対応

換気・密・飲食等のリスクあるものは、中止、延期するなど開催を慎重に判断。

中止

満天の星を見よう会 夏(8/12・大山青年の家)
シン・キョウリュウをつくろう！(8/20・博物館)
ファミリーキャンプ(8/27・船上山少年自然の家)、泥でアート！(8/27・博物館)

縮小

「境港水産物地方卸売市場2号上屋開場セレモニー」(8/11・境港水産事務所)
・開場セレモニーは招待客のみに限定して開催、その他の開場イベントは全て中止

- ・100人以上のイベントを開催する場合、県へ感染防止安全計画の届出をお願いします。
- ・更に、500名以上のイベントは、県が現地事前点検を実施します。
- ・イベント前後の会合についても万全の感染防止をお願いします。

16

特措法第24条第9項による「感染防止特別要請」

全国と同様にBA.5系統の感染が急拡大しています。

命や健康、大切な人、医療、地域を守るため、みんなで協力して感染予防を徹底しましょう。

■ 区 域 鳥取県全域

■ 期 間 令和4年7月21日から8月31日まで

■ 要請内容

- 飛沫を意識して、メリハリのある正しいマスク着用をお願いします。
- 感染リスクを下げるため、密を避けるようお願いします。
- 飛沫が付着しやすい共用物(電話機等)は、使用後に必ず消毒をお願いします。
- 基本的な感染防止対策の徹底やワクチンの追加接種をお願いします。
- エアロゾル感染が推測されるクラスターが発生しているので、換気が大切です。(エアコン使用時もこまめな換気をお願いします。)
- 人と人との距離の確保(2m程度)をお願いします。
- 宴席では、席を離れてお酌して回ることは控え、黙食・マスク会食をお願いします。
- 発熱等の症状があれば他の人に感染を広げかねません。命と健康を守るため、速やかに医療機関を受診しましょう。
- 感染不安がある方は、積極的に無料検査を受検しましょう。
- 御自身や御家族の体調不良の際には、出勤・登校をお控えください。

17

お盆期間中のワクチン接種(感染と重症化を予防しましょう！)

**感染が拡大する中、現時点での最良の手段として、
今あるワクチンを速やかに接種してください。**

(参考) 本県の3回目接種件数：350,362人(62.9%) ※8月7日時点 全国：63.4%

4回目接種件数：75,099人(13.5%) ※8月7日時点 全国：12.4%

お盆期間に接種可能な会場 ※個別医療機関でも接種可能です

<市町村集団接種会場・開催日>

鳥取市 福祉人材研修センター：13日(土) 米子市 ふれあいの里：13日(土) 14日(日)
倉吉市 市役所第二庁舎：14日(日) 境港市 済生会境港総合病院：12日(金) 13日(土)
岩美町 岩美病院：12日(金) 智頭町 智頭病院：12日(金)
伯耆町 農村環境改善センター：13日(土) ※時間等詳しくは各市町村にお問い合わせください

<県営会場・開催日>

イオンモール日吉津： 13日(土) (5~11歳の小児・18歳以上)
午後1時~4時
(最終受付時間：3時30分) 14日(日) (12~17歳の方)



18